

# 第81回 定時株主総会

平成29(2017)年6月23日

*NEVER SAY NEVER*

オート製薬

# 報告事項



ロート製薬株式会社 第81回定時株主総会報告事項をご説明させていただきます。

# 連結業績状況



まず、連結業績の状況についてご報告いたします。

# 2016年度 業績

NEVER SAY NEVER

オート製薬

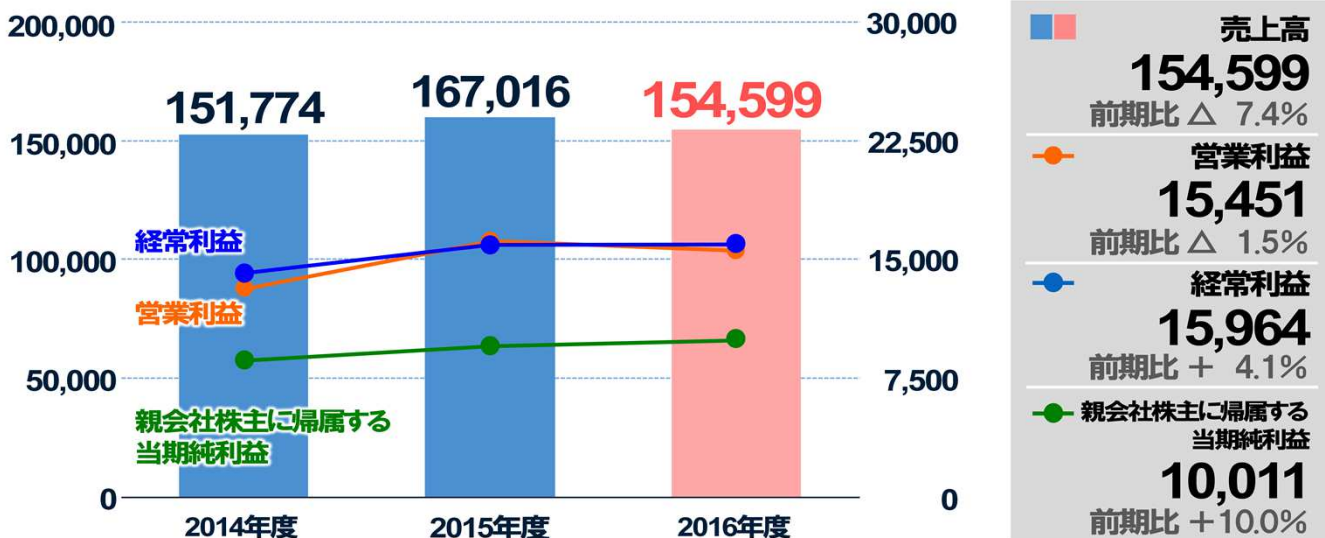
## ■ 連結の業績

(単位:百万円)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**過去最高を更新**

(単位:百万円)



当社グループは、2016年度も引き続き、顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は、前期比で7.4%減少し、1,545億9千9百万円となりました。

日本において花粉関連や高付加価値の目薬などが堅調でありましたが、海外において円高の影響に加え、中国経済の減速による減収が大きく影響いたしました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の効率的活用に努めましたが、前期比で1.5%減少し、154億5千1百万円となりました。

経常利益は、前期比で4.1%増加し、159億6千4百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比で10.0%増加し、100億1千1百万円と過去最高を更新いたしました。

# 地域セグメント別概況

NEVER SAY NEVER  
ロート製薬

地域セグメント別に概況をご説明いたします。

# 日本

NEVER SAY NEVER  
ロート製薬

まず、日本についてご説明いたします。

# 2016年度 業績

NEVER SAY NEVER

オート製薬

## 日本

(単位:百万円)

120,000

90,350

96,937

96,884

80,000

40,000

0

2014年度

2015年度

2016年度

(単位:百万円)

売上高  
**96,884**  
前期比  $\Delta$  0.1%

日本の売上高は、  
前期比で0.1%減少し、968億8千4百万円となりました。



## アイケア関連

新製品

「Vロートプレミアム」>> 好調



コンタクト

コンタクトレンズ関連 >> 堅調に推移



花粉

花粉関連品 >> 堅調に推移



主力のアイケア関連品は、新製品の「Vロートプレミアム」が好調で、コンタクトレンズ関連や花粉関連品も堅調に推移いたしました。





## スキンケア関連

競争激化の中、既存品が健闘

男性用デオドラントブランド  
「デ・オウ」 **好調**

インバウンド  
メラノCC薬用しみ集中対策美容液 **好調**



また、スキンケア関連品は、競争激化が続く「肌ラボ」シリーズが減収となったものの、男性用デオドラントブランド「デ・オウ」が好調なことに加え、「メラノCC 薬用しみ集中対策美容液」など、インバウンド需要に伴う売上が好調に推移いたしました。



## 内服・食品関連



女性の悩みに応える新シリーズ

「ツラレス」、「ユクリズム」

» 売上に寄与

内服・食品関連品は、通販限定で販売している「セノビック」シリーズが、好調に推移いたしました。

また、漢方ブランド「和漢箋」から女性の悩みに応える新シリーズ「ツラレス」などが発売され、売上に寄与いたしました。

# 2016年度 業績

NEVER SAY NEVER

オート製薬

## 日本

(単位:百万円)

120,000

(単位:百万円)

15,000

90,350

96,937

96,884

80,000

営業利益

10,000

売上高

96,884

前期比  $\Delta$  0.1%

営業利益

10,040

前期比 + 4.7%

40,000

5,000

0

2014年度

2015年度

2016年度

0

セグメント利益は、研究開発費など新規分野への先行投資があったものの、その他の販売費及び一般管理費の効率的活用に努め、前期比で4.7%増加し、100億4千万円となりました。

# 海外

アジア・アメリカ・ヨーロッパ

NEVER SAY NEVER  
ロート製薬

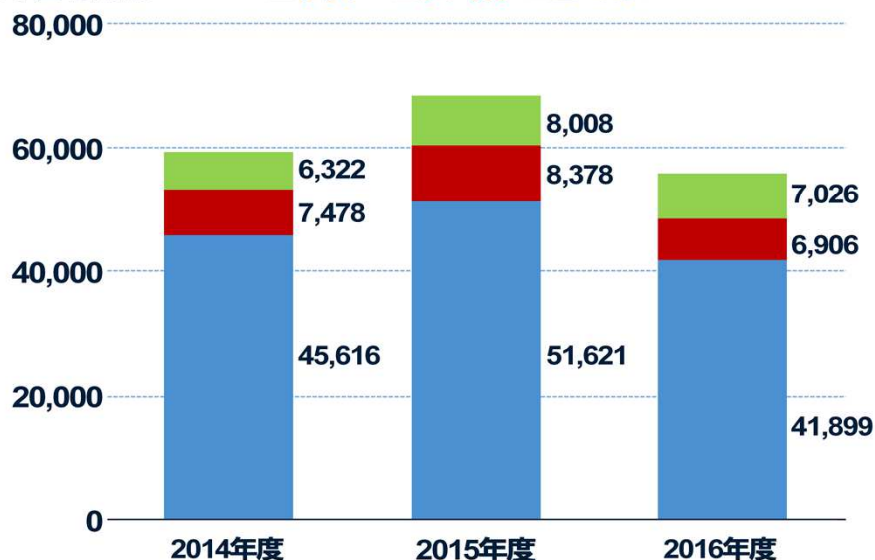
次に海外事業について、ご報告いたします。

## 海外事業 アジア・アメリカ・ヨーロッパ

(単位:百万円)

■ アジア ■ アメリカ ■ ヨーロッパ

(単位:百万円)



### 売上高

■ アジア	<b>41,899</b>
	前期比 $\Delta$ 18.8%
■ アメリカ	<b>6,906</b>
	前期比 $\Delta$ 17.6%
■ ヨーロッパ	<b>7,026</b>
	前期比 $\Delta$ 12.3%

まず、海外事業の売上高につきまして、ご説明いたします。  
 アジアは、前期比で18.8%減少し、418億9千9百万円、  
 アメリカは、前期比で17.6%減少し、69億6百万円、  
 ヨーロッパは、前期比で12.3%減少し、70億2千6百万円、  
 となりました。



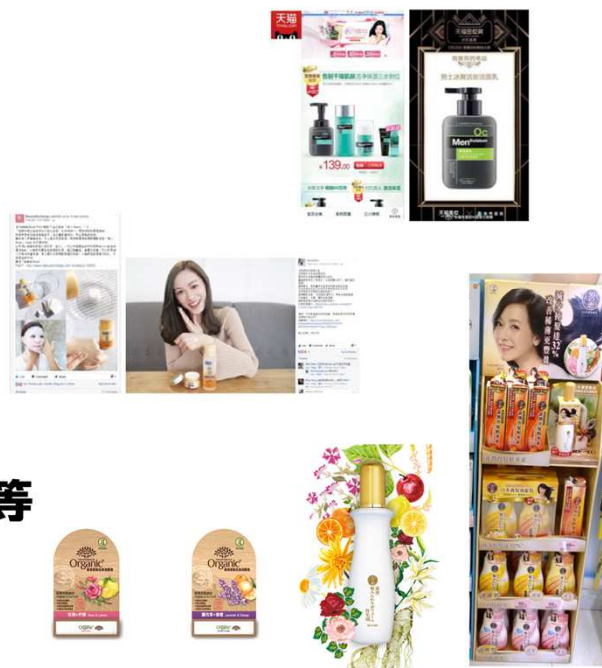
## 中国 >> 減速

- 消費動向の変化・暖冬の影響

## その他アジア地域 >> 堅調

- インドネシア・台湾・マレーシア・タイ等

## ベトナム >> 好調



アジアでは、中国において経済環境の悪化や競争激化により減収となりました。中国は市場の消費者の消費行動がドラッグストアからECチャネルへと変化したことが影響いたしました。また、暖冬の影響を受けて冬物商材が伸び悩みました。一方、現地通貨ベースで、東南アジアは増収となっており、特に、ベトナムでは2桁成長と好調に推移いたしました。

# 地域セグメント別概況 アジア

NEVER SAY NEVER  
ロート製薬



日やけ止め

「サンプレイ」▶▶ 好調



「肌ラボ」、「メンソレータムメン」

▶▶ 減収



主力のスキンケア関連では、日やけ止めブランド「サンプレイ」が新製品の投入により好調に推移いたしました。また「肌ラボ」は、競合の販促強化、ローカルブランドの参入、ECの影響、「メンソレータムメン」は中国メンズ市場の鈍化の影響があり、減収となりました。



## 目薬 ≫ 増収

- クールタイプが好調



## 販管費の効率的活用

≫ 黒字転換



アメリカでは、円高による為替換算の影響に加え、主力のリップクリームや「オキシー」が伸び悩みました。目薬については清涼感の高い「ロート クーリングアイドロップス」が好調に推移いたしました。

セグメント利益につきましては、減収となったものの広告費をはじめとした販管費の効率的活用により、9千6百万円と、増益となり、黒字に転換いたしました。





## 消炎鎮痛剤

「ディープヒート」シリーズ

» 新製品を投入し堅調



2014年6月に取得

ダクス・コスメティクス社

» 好調



ヨーロッパでは、消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが堅調に推移したことや2014年6月に取得したダクス・コスメティクス社が好調であったことにより、現地通貨ベースで増収となりました。ダクス・コスメティクス社の販売ルートを活用してロシアやポーランドで肌研やリップなどの販売を始めたことにより増収に寄与しております。

## 2016年度の配当について

NEVER SAY NEVER

ロート製薬

### 2016年度 配当

中間配当金

1株当たり 10円

期末配当金

1株当たり 11円

年間配当金

1株当たり 21円

13期連続  
増配

このような業績結果のもと、  
2016年度の配当につきましては、  
1株あたり、中間配当金10円、期末配当金11円、  
合わせて年間配当金は、1株当たり21円とさせていただきます。  
これにより13期連続の増配となりました。

- **企業集団の現況に関する事項**

設備投資および資金調達の様況

財産および損益の様況の推移

主要な事業内容

重要な親会社および子会社の様況

企業集団の主要拠点等

従業員の様況

主要な借入先および借入額

- **会社の株式に関する事項**

- **会社の新株予約権等に関する事項**

- **会社役員に関する事項**

- **会計監査人に関する事項**

- **会社の体制および方針**

---

**お手元の招集ご通知**

18ページから38ページに記載のとおりです。

NEVER SAY NEVER

**ロート製薬**

事業報告におけるその他の事項につきましては、  
お手元の招集ご通知18ページから38ページに  
記載のとおりでございますので、  
詳細のご説明は省略させていただきます。

- **連結貸借対照表**
- **連結損益計算書**
- **貸借対照表**
- **損益計算書**

---

**お手元の招集ご通知**  
39ページから42ページに記載のとおりです。

**NEVER SAY NEVER**  
**ロート製薬**

また、連結貸借対照表ほか、  
ご覧の項目につきましては、  
お手元の招集ご通知39ページから42ページを  
ご参照ください。

- **連結株主資本等変動計算書**
- **連結注記表**
- **株主資本等変動計算書**
- **個別注記表**

---

当社ウェブサイトに掲載しておりますので、  
そちらをご参照ください。

NEVER SAY NEVER  
**ロート製薬**

なお、連結株主資本等変動計算書ほか、ご覧の項目につきましては、当社ウェブサイトに掲載しておりますので、そちらをご参照ください。

続きまして、2017年度の業績見通しについて、  
代表取締役社長 吉野俊昭よりご説明いたします。

# 2017年度 業績見通し

---

NEVER SAY NEVER  
ロート製薬

続きまして、2017年度の業績見通しについて、私よりご説明いたします。

# 2017年度 業績予想

NEVER SAY NEVER

オート製薬

(単位:百万円、未満切捨、%)

	2015年度	売上比	2016年度	売上比	2017年度 予想	売上比	前期比
売上高	167,016	100.0	154,599	100.0	158,500	100.0	2.5
営業利益	15,683	9.4	15,451	10.0	15,600	9.8	1.0
経常利益	15,339	9.2	15,964	10.3	16,000	10.1	0.2
親会社株主に 帰属する 当期純利益	9,098	5.4	10,011	6.5	10,200	6.4	1.9
1株当たり 当期純利益(円)	80.04		87.95		89.54		

- 増収増益予想
- 親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新予想

2017年度の連結業績につきましては、  
売上高は1585億円、  
営業利益は156億円、  
経常利益は160億円、  
親会社株主に帰属する当期純利益は102億円  
を見込んでおります。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、過去最高を更新する予想です。

# 地域セグメント別状況

(単位:百万円、未満切捨、%)

	2015年度		2016年度		2017年度予想				
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	
売上高	167,016	100.0	154,599	100.0	158,500	100.0	3,901	2.5	
地域セグメント	日本	96,937	58.0	96,884	62.7	96,600	60.9	△284	△0.3
	アジア	51,621	30.9	41,899	27.1	45,100	28.5	3,201	7.6
	アメリカ	8,378	5.0	6,906	4.5	7,900	5.0	994	14.4
	ヨーロッパ	8,008	4.8	7,026	4.5	7,100	4.5	74	1.0
	計	164,945		152,716		156,700			
その他	2,071	1.2	1,882	1.2	1,800	1.1	△82	△4.4	
為替レート (USドル/円)	120円75銭		108円38銭		110円				

※ 売上高は外部顧客に対するものです

地域セグメント別の売上高予想をご説明いたします。

日本は、前期比で0.3%減少し、966億円、

アジアは、

中国の回復基調により前期比で7.6%増加し、451億円、

アメリカは、前期比で14.4%増加し、79億円、

ヨーロッパでは新製品に広告費および販売促進費を投入することにより、前期比で1.0%増加し、71億円

を見込んでおります。



## 2017年度の配当予想

NEVER SAY NEVER

ロート製薬

### 2017年度 配当予想

中間配当金

1株当たり 11円

期末配当金

1株当たり 11円

年間配当金

1株当たり 22円

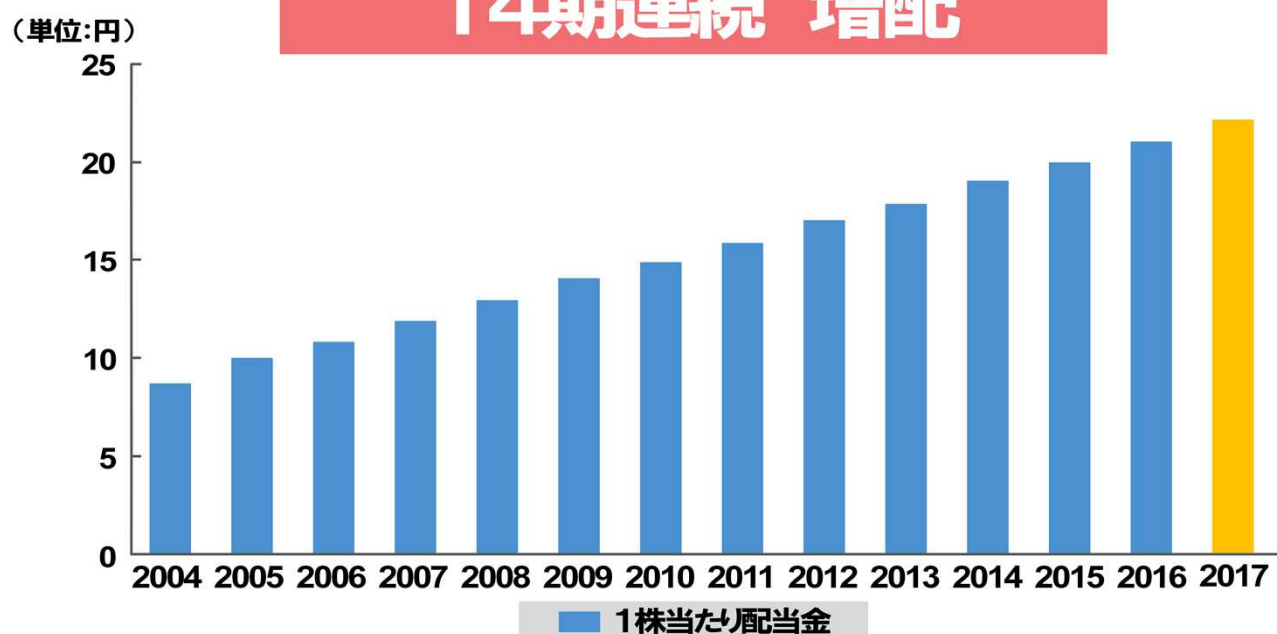
当社は継続的な安定配当を方針としておりますので、  
2017年度は中間配当金を1円増配して  
年間配当金を22円とし、

# 2017年度の配当予想

NEVER SAY NEVER

オート製薬

14期連続 増配



14期連続増配を予定しております。

# 今後の取り組み

NEVER SAY NEVER  
ロート製薬

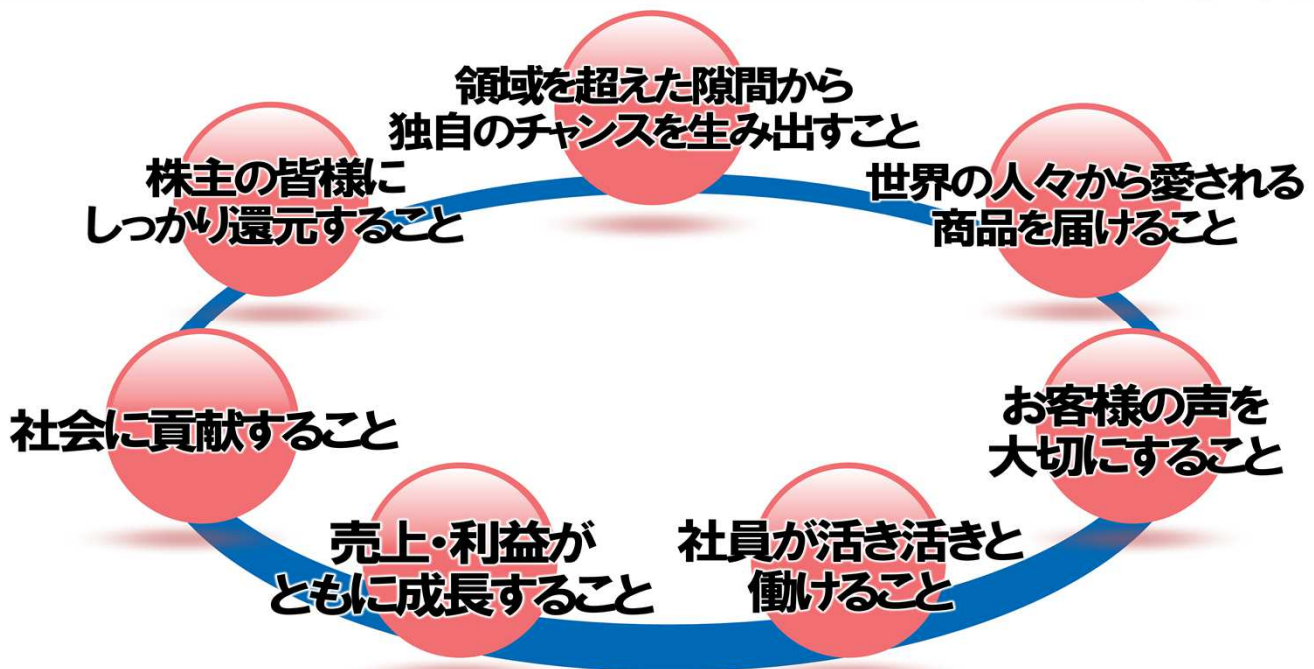
今後の成長に向けた取り組みについてご説明します。

## 「健康寿命を伸ばすこと」へチャレンジ



## 新しい領域への挑戦

当社が目指すもの、それは、  
「健康寿命を伸ばすこと」です。  
「健康寿命を伸ばすこと」へチャレンジ、  
新しい領域への挑戦をし続けて参ります。



挑戦し続ける、活気あるロートであるために、  
当社が実践していくことは、

領域を超えた隙間から独自のチャンスを生み出すこと、  
世界の人々から愛される商品を届けること、  
お客様の声を大切にすること、  
社員が生き活きと働けること、  
業績が拡大し、売上・利益がともに成長すること、  
社会に貢献すること  
そして、株主の皆様をしっかり還元することです。

これらを実践していくことを、全社一丸となって  
取り組み、「健康寿命を伸ばすこと」を目指します。

# 再生医療・食ビジネス

当社は引き続き、  
再生医療と食ビジネスに取り組んでおります。

## 再生医療医薬品 開発状況

- 「特定細胞加工物製造許可」を取得  
細胞培養受託を可能に
- 2020年までに再生医療医薬品の発売を  
目指す



当社が再生医療に取り組むのは、目薬事業で培った「モノづくり」のノウハウを、細胞培養に展開することが出来るからです。目薬を無菌状態で安定して製造、充填する工程は、同じく無菌状態が必要となる繊細な細胞培養との親和性が高いと考えております。

日本の得意とするロボット技術を導入して、無人で安定した品質の細胞を培養することで一足早い産業化を目指してまいります。2016年11月に「特定細胞加工物製造許可」を取得し、細胞培養受託が可能になりました。

2020年までに再生医療医薬品の発売を目指し、着実に前進しております。

## 再生医療研究の知見から生まれた技術を化粧品に応用

- 脂肪由来間葉系幹細胞の遊走・増殖能を促進させる素材を発見

episteme

» 「ステムサイエンス」シリーズ

- 今後も製品追加予定



また、再生医療研究での過程から得られた知見を応用し、化粧品の開発も進めております。

先進的な技術を応用したエイジングケアブランド「エピステーム」から、「ステムサイエンス」シリーズを発売しております。



## 農業・畜産業の展開、薬膳フレンチレストラン



## 100%オーガニック豆を使用した「ダルーラ」スープシリーズを発売



次に、「薬に頼らない製薬会社になりたい」を目標に、病気やストレスに負けない身体を作る源となる食ビジネスに取り組んでいます。

具体的には、農業・畜産事業の展開、薬膳フレンチレストランなど、食から生まれる健康への挑戦を続けております。最近では、女性が朝食を食べないケースが増えていることに着目し、女性が不足しがちな葉酸・鉄・食物繊維などの栄養素を含んだ100%オーガニック豆を使った「ダルーラ」スープシリーズを発売しました。

## ノビレチンに着目

### ▶▶ 長寿の村・大宜味村のシークワサーの研究

- ノビレチンに着目
- 新たなアンチエイジング効果を発見、学会発表準備中
- ノビレチンサプリメント上市予定

## 農業支援で地域活性化

### ▶▶ 奈良県、宇陀市、ロート製薬の3者で 大和高原の魅力ある仕事づくりで 連携協定を締結

2016年度は沖縄の長寿の村である大宜味村(おおぎみそん)のシークワサーの成分「ノビレチン」に新たなアンチエイジング効果を発見いたしました。サプリメントとして発売を見込んでおります。

また、農業の力で地域の活性化を図ろうと奈良県と、当社の創業者の出身地である宇陀市とともに「ネクスト コモンズ ラボ奥大和」を立ち上げました。ここでは奥大和の様々な素材をもとに新規ビジネスを開拓していく人を応援していきます。当社の既存事業とシナジーのある有用な新規事業を見つけ出すプラットフォームとして活用してまいります。

# ヘルス&ビューティ事業

次に、ヘルス&ビューティ事業について、ご説明いたします。

## ロート ワンデー エマーブル

高度管理医療機器 承認番号:22800BZI00037A04

» ドラッグストアにサークルレンズを導入



## ドゥーテストLHa 第1類医薬品

» 排卵日予測検査薬  
OTC医薬品の排卵日予測検査薬の  
第1号として全国の薬局・薬店で発売



既存事業におきましても、新たなチャレンジを続けてまいります。

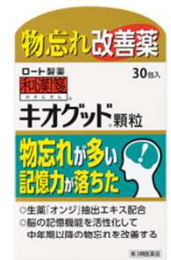
1日使い捨てタイプのカラーコンタクトレンズ「ロートワンデーエマーブル」を発売いたしました。

ドラッグストアではまだ市場が確立されていないサークルレンズ、いわゆるカラーコンタクトレンズを導入いたしました。コンタクトレンズ製造と目薬で培った技術を活かして、おしゃれなレンズを発売しドラッグストア市場に新たなカテゴリーを創造してまいります。

排卵日予測検査薬の「ドゥーテストLHa」は、OTC医薬品の排卵日予測検査薬の第1号として全国の薬局・薬店で発売いたしました。

## キオグッド顆粒 第3類医薬品

» 脳の記憶機能を活性化して  
中年期以降の物忘れを改善する生薬製剤



## ハレス口内薬 第3類医薬品

» 歯槽膿漏薬としては日本初  
組織修復成分・アラントインと、  
止血成分・カルバゾクロムの組み合わせを採用

漢方・生薬ブランド「和漢箋」から「キオグッド顆粒」を発売いたしました。

医薬品において単味生薬のエキス製剤の製造販売承認申請に係るガイダンスが策定され、「オンジ」を有効成分とした単味生薬製剤には「中高年以降の物忘れの改善」という効果が定められました。当社はこのカテゴリーに、いち早く参入することにいたしました。

また、長年のスキンケア研究を活かして、歯槽膿漏薬「ハレス口内薬」を発売いたしました。

歯槽膿漏薬としては日本初となる、組織修復成分・アラントインと、止血成分・カルバゾクロムの組み合わせを採用しています。

既存事業におきましても、安定した収益基盤を構成するため、新たな市場の開拓、販路の拡大・強化を目指してまいります。

これまでに培った技術、再生医療で得られた知見などを活かし、今後も新製品を投入してまいります。

# 海外展開

次に、海外展開について、ご説明いたします。

### 各地に現地法人を設立

- 1991年 中国
  - 1996年 インドネシア
  - 1997年 ベトナム
  - 2010年 インド、バングラディッシュ
- 

当社の海外展開は、1988年のメンソレータム社買収以降、同社の海外拠点をあしがかりに、進めてまいりました。

そこで培ったノウハウを活かして新興国に進出してきました。参入企業が少ない段階で、展開することで投下資本を押さえつつ経営基盤の構築につなげていきたいと考えております。

## 南アフリカ共和国AJ North社の子会社化(2016年7月)

▶▶ アフリカ南部のヘルス&ビューティ事業展開を加速

## ブラジル OPTHALMOS社の子会社化(2016年10月)

▶▶ 南米での医科向け目薬の拡充、OTC目薬市場への進出

アフリカの開拓において、2013年にはケニアに現地法人を設立し、タンザニアやエチオピアなど周辺諸国での販売も開始しております。

そして、2016年7月に、パーソナルヘルス&ビューティブランドを複数所有する南アフリカの老舗メーカーである AJ North社を買収いたしました。

この買収によりアフリカ南部の事業展開を加速して参ります。

ブラジルにつきましては、2013年にロート・ド・ブラジル社を設立し、同国において、市場調査を行ってまいりました。アイケアの潜在需要が大きいと見込み、2016年10月に OPTHALMOS社を買収いたしました。

医科向け目薬の拡充、OTC目薬市場への進出、及び周辺国や世界各地への製品輸出や眼科周辺分野への商品群の拡大も期待できると見込んでおります。



# 社会貢献・人材育成への取組

次に、当社の社会貢献、人材育成への取り組みについてご説明します。

## 社会貢献活動

### 3社合同で設立 奨学基金「みちのく未来基金」

### アジアの新興国を中心とした無料眼科検診による目の支援



東日本大震災の支援活動は引き続き取り組んでおります。東日本大震災において被災し親を亡くされた子ども達の進学を支援するため、カゴメ様、カルビー様、ロート3社合同で設立した奨学基金「みちのく未来基金」は、引き続き活動を行っております。

海外においても、ロートグループの主力事業であるアイケアのノウハウを活かした活動を行っております。特に、アジアの新興国で、広く一般の方たちに目の大切さを知ってもらうための無料眼科検診を定期的に行っております。そして、中国やベトナムでの活動をミャンマーやカンボジアなどにも拡大しております。

「社会の公器」としての社会的責任を果たすことこそが企業としての使命であると考え、様々な社会貢献活動を行っております。

## ダイバーシティ人材を育成・輩出

■ 社外チャレンジワーク制度

■ 社内ダブルジョブ制度

一人一人の中にある可能性を引き出す取り組み

また、社会や地域に貢献できるダイバーシティ人材を育成・輩出するために、2016年から始めました、「社外チャレンジワーク制度」、「社内ダブルジョブ制度」には100名を超える社員が自ら手を挙げて取り組んでおります。1つの企業の枠に縛られずに世の中に貢献できる人材を輩出したいと思っております。

NEVER SAY NEVER

ロート製薬

世の中を健康にするために  
自分たちの進むべき道を見据え  
どんな困難にもめげずに  
常識の枠を超えてチャレンジし続ける

今後さらなる「健康」への挑戦の想いと決意を込めて、制定したコーポレート・アイデンティティ「NEVER SAY NEVER」を胸に、気持ちを新たに、高い志をもって取り組んで参ります。

以上で第81期事業報告、連結計算書類および計算書類のご報告を終わらせて頂きます。

**株主の皆様におかれましては、  
何卒今後とも一層の  
あたたかいご支援とご鞭撻を  
賜りますようお願い申し上げます。**

# 第81回 定時株主総会

平成29(2017)年6月23日

*NEVER SAY NEVER*

オート製薬